

2023年5月11日

各 位

会 社 名 株式会社セキュアヴェイル
 代表者名 代表取締役社長 米今政臣
 (コード番号:3042 東証グロース)
 問合せ先 経営企画本部 大山紀夫
 (電話 03-6264-7180)

連結業績予想の修正及び個別業績の前年実績値との差異に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表しました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の通期業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。また、個別業績の予想値につきましてもお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期連結業績予想値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,150	55	54	44	5.72
今回修正予想(B)	1,029	△34	△30	△44	△5.73
増減額(B-A)	△120	△89	△84	△88	
増減率(%)	△10.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	957	△92	△83	△111	△14.54

修正の理由

売上高につきましては、既存顧客で一部契約の見直し(縮小)があった一方で、プリセールスの拠点となる沖縄カスタマーサポートセンター開設やパートナーとの協業が奏功し、新規案件獲得が進みました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、対面での営業・セミナー活動の制限により商談進捗の遅延や受注後の納入時期ずれが生じ、また、顧客の投資抑制による案件規模の縮小や導入時期の延期などの要因により、当初計画を120百万円下回る見込となりました。

損益面につきましては、売上の減収に加え、人員を拡充し、沖縄カスタマーサポートセンター開設などの体制整備や子会社によるセキュリティ運用基盤の研究開発体制を強化したことにより、事業投資費用が嵩み、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が当初計画を下回る見込みとなりました。

なお、この状況を踏まえて、当社グループでは重点施策であるパートナーとの連携強化によるアップセルや新規顧客の獲得に取り組むとともに、セキュリティ運用基盤の機能強化やクラウドサービス化、サービスラインナップの増強などの施策を実施し、今後の収益拡大に取り組んで参ります。

2. 2023年3月期個別業績予想値（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績（A） （2022年3月期）	百万円 801	百万円 94	百万円 94	百万円 12	円 銭 1.63
今回発表予想（B）	800	△0	△4	△279	△36.39
増減額（B－A）	△1	△94	△98	△292	
増減率（％）	△0.2	—	—	—	

差異の理由

当期純利益につきまして、連結子会社である株式会社LogStareが当初想定していた計画を下回って推移したため減損処理を実施し、関係会社株式評価損として269百万円を特別損失に計上する見込みとなりました。

なお、当社の個別決算で計上されるこの特別損失は連結決算では相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

（注）上記の業績予想は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて記載したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上